

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	冠攣縮が原因と思われる心臓突然死例実態調査			
2. 対象患者	冠攣縮が原因と思われる心臓突然死に対し蘇生処置を行い、蘇生に成功した患者様			
3. 対象となる期間	2014年 1 月 1 日 ~ 2018年 12 月 31 日			
4. 実施診療科等	循環器内科, 腎臓内科			
5. 研究責任者	氏名	西崎 史恵	所属	卒後臨床研修センター
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	研究代表者: 愛媛県立新居浜病院循環器内科 末田章三			
7. 研究の意義	冠攣縮(冠動脈という心臓の血管が一部痙攣を起こして急に縮んでしまい、心臓の筋肉へ酸素を供給できなくなる状態)が原因と思われる心臓突然死からの蘇生成功例の治療は、我が国のガイドラインにも一定の治療方針に関する記載はなく、各施設ごとの対応となっています。そこで、各病院での症例数と治療内容をアンケート調査することで、適切な治療方法を検討することが可能となります。			
8. 研究の目的	治療を担当した医師に対するアンケート調査による研究を行うことで、冠攣縮が原因と思われる心臓突然死からの蘇生成功例の適切な治療方法を検討することです。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	カルテや既存のデータベースを用いた心臓突然死症例数、心臓突然死蘇生患者様の薬物投与内容、心臓カテーテル検査結果所見、植込み型除細動器植込みの有無等のデータを使用し研究代表者より依頼されたアンケートに記載し、研究代表者へ送付致します。外部へのデータ提供の際には、患者様の個人情報が入り込まないように匿名化した状態で提供致します。			
10. 個人情報の保護	患者様の個人情報が特定できないように匿名化して情報を提供します。研究成果が学術目的のために公表されることがありますが、その場合も患者様の個人情報の秘密は厳重に守られ、第三者には絶対にわからないように配慮されます。また患者様より拒否の申し出があった場合は、対象から除外しデータを削除致します。ただしすでに匿名化のうえ解析済みの場合や研究結果公表済みの場合は、データを修正することはできませんのでご了承ください。			
11. 利益相反に関する状況	研究代表者、分担代表者とも利益相反はありません。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター 助教 西崎 史恵			
	電話	0172-39-5057	FAX	0172-35-9190